

1>> しまもとちょうない がつ がつ み しゅるい ほたる なまえ 2>> それぞれどこに住んでいますか



3>> ほたる なん ひか 蛍は何のために光るのだろう

5>> ほたる よる かつどう 蛍はなぜ夜に活動するのだろう

6>> ほたる ひか 蛍が光るのは

- ① たまご ② ようちゅう ③ さなぎ ④ せいちゅう
①卵 ②幼虫 ③さなぎ ④成虫

7>> ほたる いっしょう いちばんながい ほたるの一生で一番長いのは

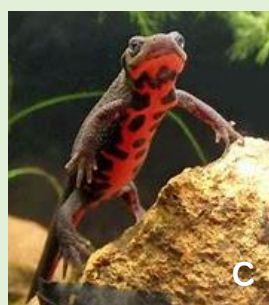
- ① たまご ② ようちゅう ③ さなぎ ④ せいちゅう
①卵 ②幼虫 ③さなぎ ④成虫

8>> ゲンジボタルのようちゅうはどれでしょう ↓

9>> ようちゅう せいちゅう た 幼虫/成虫が食べるものは ↓

10>> ようちゅう せいちゅう た 幼虫/成虫を食べるものは ↓

4>> ひか のは ①オス ②メス ③両方とも



みなせがわ ほたる よる 水無瀬川の蛍は夜8:15~9:00頃が見ごろ。懐中電灯などで光を当てると、光らなくなるので注意!



- 1>> ヒメボタル、ヘイケボタル
 2>> ヒメボタル:草地、雑木林、高原 ヘイケボタル:水田、用水路、小川
 ゲンジボタル:きれいな小川、用水路
 3>> 暗い中で結婚相手に気づいてもらうため 生息地が街灯などで、明るくなり過ぎると、結婚相手を探しづらくなるので、ホタルが絶滅してしまいます
 4>> ③両方とも
 5>> 天敵に食べられないため *蛍の中には昼に活動する(昼光性)ものもいます。
 6>> すべて光る *ゲンジ、ヘイケ、ヒメボタルはすべて光るが、成虫になると光らないホタルもある
 7>> ①卵約 25 日 ②幼虫9~10か月 ③さなぎ約 4 週間 ④成虫 だいたい 7~10 日
 8>> F / H はさなぎ
 9>> 幼虫=L カワニナのいる清流でしか蛍は育たない。口から消化液を出し、カワニナを溶かして食べる(肉食) [2015 02 07 カワニナを食べるゲンジボタルの幼虫「捕食編」No 17 - Bing video](https://www.youtube.com/watch?v=20150207)
 成虫=何も食べない 草木についたわずかな夜露を吸うのみ
 10>> 幼虫=D 幼虫には毒があるので、好んで食べないものもいる [幼虫ホタル天敵は何? | 蛍の生態を知って観賞する \(xn--5ckvc5b.biz\)](http://xn--5ckvc5b.biz)によると、ツグミやイモリ、オタマジャクシは食べない オニヤンマのヤゴは食べないようだが、食べるヤゴもいる 小さい頃のザリガニは食べるが、大きくなると食べない サワガニは不明 カワムツは大好物 人間にはほとんど害はない 毒を持っているても、触っても手がかぶれたり、痛くなることはない。
 成虫=I,J クモの巣にかかった蛍が発光し、それに誘われて他の蛍も巣にかかる / 鳥類は夜に活動しないものが多い
 A=ツグミ B=サワガニ C=アカハライモリ D=カワムツ E=オタマジャクシ F =ゲンジボタル幼虫 G=オニヤンマのヤゴ H=ホタルのさなぎ I=カマキリ J=ジョロウグモ K=シジミ L=カワニナ

水無瀬川のゲンジボタルは5月下旬~6月の下旬頃まで観れますが、たくさん観れるのは6月の上旬~中旬まで。20時15分頃から21時30分頃にもっとも活発に活動(発光)します。22時頃からはあまり光を発しなくなります。島本のヒメボタルは深夜型で、0時がピーク。

懐中電灯とかホタルより強い光源があるとホタルは光るのをやめて繁殖行動を行わなくなります。つまりホタル見物に行く際に懐中電灯とかもっていき無分別な人間はある意味、天敵と言えるでしょう。



ヒメボタルは、陸生のホタルで、幼虫は陸生の貝、オカチョウジ貝や、キセル貝を食べて成長します。ゲンジ、ヘイケより小さいことから(9~7mm)ヒメと名付けられました。光方は、フラッシュライトのように、激しい光方をします。メスは後翅が退化して飛べません。

島本町では、5月上旬~6月上旬に草地や雑木林で、平地型のヒメボタルが飛び交い、6月下旬~7月下旬に尺代や大沢で平地型より一回り小さい山地型のヒメボタルが雑木林で飛び交います。このように、一カ所で2種類のヒメボタルの生息地があることは珍しく、しかも島本町では2種類の生息地が2km位しか離れていないことから、大変貴重な地域となっています。

[謎めいたヒメボタルの生息条件 | 蛍の生態を知って観賞する \(xn--5ckvc5b.biz\)](http://xn--5ckvc5b.biz)



ホタルを温かく

見守りましょう！

ホタルは、水無瀬川をはじめ町内各所で5月下旬から6月中旬ごろに飛翔します。ホタル観賞を楽しんでいただくため、みなさんご協力ください。

問 環境課 ☎ 962・2863



ホタルを持ち帰らないで

ホタルは数日しか生きることができず、とてもはかない命です。採ったりせず鑑賞するのみにしてください。



懐中電灯やカメラのフラッシュなどの光をホタルに向けないで

ホタルは光を使って仲間同士でコミュニケーションをとります。ホタルに懐中電灯などの光を向けることでストレスがたまり、光るのをやめてしまうこともあります。



路上駐車はしないで

路上駐車することで、交通の妨げや交通事故の原因にもなりかねません。ホタル観賞をされるかたは、徒歩や自転車をご利用ください。



住宅、事業所でも照明にご配慮を

町内では住宅、事業所近くでも、ホタルの飛翔が確認されます。ホタルの飛翔が確認される地域にお住まいのかたや事業をされているかたは、ホタルの飛翔時にはカーテンを閉めるなどのご協力をお願いします。

ヒメボタルが自然発生できるよう、わたしたちの手で水辺環境を守りましょう。

森のホタル・ヒメボタル生息地



ヒメボタルの特徴

- 体長6～8mmの小さなホタルです。
- 本州～九州に分布しています。
- 幼虫は陸生貝類等を食べます。
- 成虫の雌は後翅が退化して飛べません。
- 発光は、フラッシュのように光ります。



ヒメボタルの見える時期

- ・ 成虫の発生期は、5月中旬から6月初旬です。
- ・ 成虫の発生ピークは、5月下旬頃です(年によって変わる)。
- ・ 発光は22時頃から。最も多く光るのは、深夜1時前後です。

+ ヒメボタル生息地帯 +



桂川河畔林のヒメボタルの重要性と保護

- ・ ヒメボタルの雌は飛ぶことができないため、環境の変化に特に弱い生き物です。
- ・ 大山崎町桂川河畔林のヒメボタル生息数は、近畿圏内最大級です。
- ・ ヒメボタルとその生息地を、地域の宝として子供たちの世代に伝えていかなければなりません。
- ・ ヒメボタルが棲む河畔林は、多様な生物が生息しています。ヒメボタルを守ることで、多様な生物も守れます。

観察される方へのお願い

- ・ ヒメボタル観賞は、竹林の外周でおこなってください。発生地の竹林は民有地ですので立ち入らないようにして下さい。
- ・ マムシヤムカデには、十分ご注意ください。

大山崎町 / 協力：乙訓の自然を守る会